



CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2022-2023

CSR レポート 2022 の発刊にあたって

大東化成グループは CSR 活動を企業活動の根幹をなすものと考え 10 年以上前から行動規範を定め、国連のグローバルコンパクトや ISO26000 を尊重し CSR 活動を進めて来ましたが、その活動内容については、2015 年から CSR レポートとしてホームページ上にて公開しています。それは私たちが、「企業の存在価値は、ステークホルダーからの期待に応え、豊かな社会に貢献する CSR 活動にある」と考えているからです。

当社の CSR 活動は、当初は社会の要請により、企業の倫理的な法令遵守から始まりましたが、現在は社会的価値と経済的価値が両立する持続可能な社会の実現を目指すものになり、SDGs によってそのための取り組むべき当社の課題が明確になりました。

私たちは、SDGs 視点での活動をもって CSR 活動を推進する事とし、今回の CSR レポートにおいても前年と同じく、SDGs の 17 の課題に基づいてレポートを作成しました。

ステークホルダーもまた持続可能な社会の実現の為に活動を行う事を企業に期待しており、企業として SDGs を尊重して CSR 活動を行うことは、ステークホルダーの期待に応え、企業の存在価値を高め、倫理的な成長にもつながると信じます。また社内的には SDGs は従業員一人一人が「我がこと」と考え行動できるテーマであり、自らの行動が SDGs に関連していることを知ることができます。一人一人が社会の一員として将来に貢献している事を感じることができる尊い取り組みであると思います。

また、従業員の健康、労働条件、会社のコンプライアンスやガバナンスで法令順守にとどまらず、従業員の well being や利害関係者の信頼性向上の為にできることを常に考え実行しており、今回のレポートでは当社のオリジナルな取り組みとして紹介しています。

今回のレポートでは、2022 年から 2023 年上期の間の大きなトピックと世界の展示会での活動を掲載しました。これらにより私たちの活動の方向性をより理解いただければ幸いです。

私たちは SDGs への取り組みを大々的に行うことはできないかもしれませんが、その意義を尊重し企業運営の基本として継続的に取り組んでいきます。また、取り組みの内容については、定期的に CSR レポートとして透明性をもって皆様に開示していきます。

2023 年 8 月 21 日
大東化成工業株式会社
CSR 事務局

目次

1. 大東化成グループ概要	
1.1 事業内容	p.6
1.2 組織	p.6
1.3 従業員・研究開発・生産量・地域別販売比率	p.7
2. CSR コミットメント	
2.1 CSR の基準書	p.7
2.2 SDGs 視点での企業活動の推進	p.8
3. 適切な事業の遂行	
3.1 意思決定	p.8
3.2 会計処理	p.8
3.3 公正な取引	p.8
3.4 知的財産	p.8
3.5 腐敗防止	p.8
3.6 反社会的勢力の排除	p.8
3.7 事業継続体制	p.8
4. 期間における大きなトピックと展示会への取り組み	
4.1 EFfCI GMP 認証の取得	p.9
4.2 ISO14001 認証取得	p.9
4.3 IFSCC 2022 において口頭発表 1 件、ポスター発表 3 件が受理	p.10-11
4.4 6th IPCE CONFERENCE	p.11
4.5 Make-Up Bar Award の金賞受賞 (2 回目)	p.12
4.6 「CITE アワード」環境部門ノミネート及び SILVER AWARD 受賞	p.12
4.7 世界各国の展示会での活動	p.12-13
2022 年 4 月 5～7 日	in-cosmetics global 2022 フランス
2022 年 10 月 25～27 日	ICI 2022 インドネシア
2022 年 11 月 7～9 日	in-cosmetics Asia タイ
2023 年 3 月 28～30 日	in-cosmetics global スペイン
2023 年 5 月 17～19 日	CITE JAPAN 2023
2023 年 6 月 7 日～8 日	ICI 2023 インドネシア
5. 品質方針と環境方針	p.14

6. 笑顔あふれる職場を目指して	
6.1 差別のない待遇	p.15
6.2 労働法令の遵守と職場環境の改善	p.15-16
従業員の人権を守る	
腐敗を防止する	
未来を創造する若者を育てる	
女性が働きやすい職場	
男性の育児休業	
従業員の健康への配慮	
健康優良法人認定	
障害者雇用	
6.3 従業員の安全と衛生を守る	p.16-17
勤務時間	
化学物質管理	
リスクマネジメント	
産業医による健康相談	
7. 学びを通して成長する従業員づくり	
入社時研修	p.17-18
ISO9001 & EFfCI GMP 研修	
ISO14001 研修	
ハラスメント研修	
語学教育	
社外研修	
資格取得者への報償	
人事評価面談制度	
昇級昇格者研修	
8. 持続可能な社会を実現するための製品開発と市場展開	
8.1 プラスチック汚染の解消を目指して	p.18-19
CELLULOBEADS (セルロビーズ)	
8.2 水の豊かさを守る	p.19
サクラン	

8.3 持続可能な資源の調達を目指して	p.20-21
RSPO 認証	
備長炭粉末	
天然由来製品	
9. 顧客満足	
9.1 品質管理システム	p.21
顧客満足の維持向上のための品質管理システム	
大手顧客による品質管理体制監査	
世界のニーズに応えるための品質管理システムと従業員の意識向上	
9.2 CSR 活動に対する評価	p.21-22
CSR 活動に対する第三者機関の評価の尊重	
EcoVadis、CDP、Sedex による評価結果のまとめと対応	
EcoVadis	
CDP	
Sedex	
プラットフォームの評価を尊重した対応	
10. 環境保全への取り組みーより良い未来のために	
10.1 環境関連法令の遵守	p.23
10.2 温室効果ガス削減のための個別の取り組み及び 2030 年排出量目標	p.23
11. パートナーシップ	
11.1 ステークホルダーの期待に応える	p.23-24
11.2 私たちが所属している団体	p.24
11.3 地域との連携や雇用の創出	p.24-25
スイゼンジノリの養殖	
環境汚染を解消する製品の生産力を増加する他社との協力体制	
CELLULOBEADS（セルロビーズ）委託生産	
地方自治体、森林組合、近隣住民との連携で行う環境保全	
「笑顔の森」森林保全活動	
12. 当社のオリジナルな取り組み	
12.1 従業員の健康管理	p.26
インフルエンザ予防接種負担	
健康診断追加項目・再検査補助	

	産業医巡視及び健康診断	
	健康優良法人	
12.2	労働条件	p.26-27
	時差出勤と在宅勤務の継続	
	入社者に対する年次有給休暇の入社時付与	
	休日出勤手当	
	深夜割増賃金	
	外出、早退月各一回	
	残業時間	
	ユースエール認定	
12.3	休業補償	p.27
	入院補助・死亡保障の上乗せ	
12.4	働きやすい職場	p.27
	ハラスメント研修	
	社内相談窓口	
12.5	社内行事・表彰制度	p.28
	年始会・永年勤続表彰	
	社員旅行	
12.6	ガバナンス・コンプライアンス	p.28-29
	公認会計士監査	
	優良申告法人	
	贈収賄防止・全従業員からの署名	
	苦情相談窓口の設置	
	社会保険労務士事務所との連携	
	地域雇用の創出	

1. 大東化成グループ概要

1.1 事業内容

大東化成工業は、1950 年に大阪で設立された日本の民間企業です。

私たちは、化粧品原料、樹脂、インキを製造・販売しています。

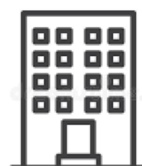
そのうち化成品部門（化粧品原料）の売上が、90%を占めています。

化成品部門は、化粧品原料として表面処理粉体、感覚や視覚効果を提供する調整剤や乳化剤などの特殊原料を製造・販売しています。

私たちのお客様は、小規模メーカー様から世界的な多国籍企業まで多岐にわたります。



4 つの製造拠点（日本）
1 つの製造拠点（フランス）



3 つの販売子会社
（中国、フランス及びイタリア）

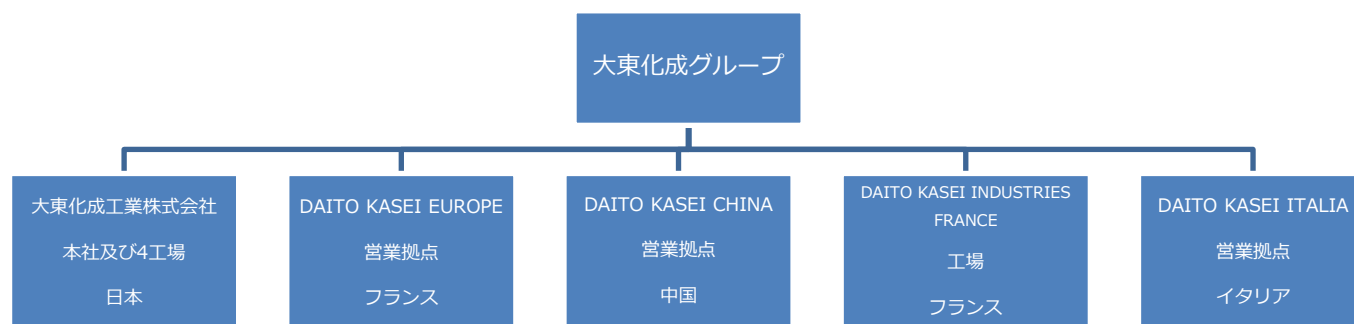
販売、流通、製造の各事業を通じて、私たちは
世界 50 カ国以上で事業を展開しています。



4 つの処方配合室



1.2 組織



1.3 従業員・研究開発・生産量・地域別販売比率

従業員数

グループ全体：296 人（内女性 86 人）

内訳：大東化成工業株式会社：235 人（内女性 53 人）

DAITO KASEI EUROPE：27 人（内女性 21 人）

DAITO KASEI INDUSTRIES FRANCE：25 人（内女性 6 人）

DAITO KASEI CHINA：5 人（内女性 3 人）

DAITO KASEI ITALIA：4 人（内女性 3 人）

管理職数

グループ全体：45 人（内女性 19 人）

男性従業員に占める管理職の割合：12.4%

女性従業員に占める管理職の割合：22.1%

男性及び女性従業員にしめる管理職の割合は女性がほぼ 2 倍となっています。

2022 年生産量及び研究開発費

大東化成工業株式会社及び DAITO KASEI INDUSTRIES FRANCE における 2022 年の生産量は 2,650 トンと前年比 250 トンの増加となりました。

研究開発については、主に日本で行われており、大学などの共同研究も行っており、研究開発費は約 3 億円を投じています。

地域別販売比率

2022 年の地域別販売比率は以下となっています。

日本：34%、ヨーロッパ：33%、その他海外：33%

2. CSR コミットメント

2.1 CSR の基準書

私たちは CSR に関し次の 4 つの基準書を作成し尊重しています。

Code of ethics（倫理）

Environmental policy（環境）

Risk management policy（リスク管理）

Responsible purchasing policy（調達）

これらの基準書は、国連のグローバルコンパクトの 10 原則及び ISO2600 に基づいて作成されており、大東化成グループ全体の CSR 活動の規範となるものです。これらの基準書では、企業倫理、労働、人権、環境、持続可能な調達における私たちの基本的な行動指針を明らかにしています。尚、4 基準書の詳細については、当社ホームページのサステナビリティ関連文書をご覧ください。

2.2 SDGs 視点での企業活動の推進

私たちは基準書で定める行動指針を尊重すると共に、世界共通の目標である SDGs 視点での企業活動を推進します。このことにより、社会的価値と経済的価値が両立する持続可能な社会の実現に貢献できるものと考えています。

すべての事業活動においては、会社法その他の事業活動に関する法令を遵守するとともに、社会的な倫理を尊重し、社会的な規範から逸脱することなく適切に事業を遂行します。

3. 適切な事業の遂行

大東化成グループ（日本、フランス、中国、イタリアの5社）は適切な事業を遂行するため、以下を実施しています。

3.1 意思決定

会社の意思決定機関である取締役会については、経営計画、事業の策定、一定額以上の投資案件、重要な業務執行の決定、会社組織の見直しなどの意思決定を行います。

取締役会の開催については、検討事項に迅速に対応するため、随時開催しタイムリーな意思決定を行っています。

3.2 会計処理

会計処理・経理処理が適正に行われているかについては、公認会計士による監査や税理士による確認指導を受け、第三者による評価を受けています。税務署からは優良申告法人として表敬を受けています。

3.3 公正な取引

事業に関する取引については、相手先との公正な取引を行います。

3.4 知的財産

自社及び取引先の知的財産を尊重します。

3.5 腐敗防止

贈収賄、過度な接待や利益相反に該当する行為を行いません。

3.6 反社会的勢力の排除

反社会的勢力との関りを持ちません。

3.7 事業継続体制

自然災害、感染症などの緊急事態に備え、事業継続体制を整えます。

4. 期間における大きなトピックと展示会への取り組み

4.1 EffCI GMP 認証の取得

2022 年 6 月・7 月に、岡山・新潟・福井の 3 工場において、化粧品原料製造に対する GMP である「EffCI GMP for Cosmetic Ingredients (2017)認証」を取得し、製品の品質と安全性を管理する体制を強化いたしました。



EffCI GMP は欧州化粧品原料連合会により作成され ISO9001 を枠組みに採用していますが、ISO9001 ではカバーしきれない要件を GMP 要求事項として含んでおり、製品の品質管理や安全性の向上を構築するためのガイドラインとなっています。

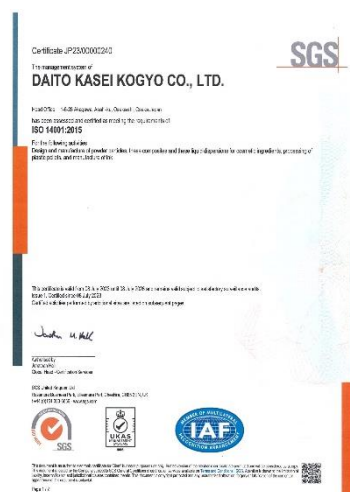
現在日本国内でこの認証を取得している工場は 10 カ所ですが、そのうちの 3 カ所は弊社の 3 工場です。

弊社は、今後も高品質で安全な化粧品原料を提供すべく、厳格な品質管理体制のもと製造し、お客様に安心をお届けして参ります。

4.2 ISO14001 認証取得

大東化成工業株式会社は、本社、岡山工場、福井工場、新潟工場、東大阪工場の全拠点を対象としたマルチサイト認証の審査を受け、2023 年 7 月正式な認証を取得しました。

これまで外部認証としては、ISO9001、EffCI GMP、RSPO 認証を取得していましたが、今回更に環境マネジメントシステムに関する認証を取得する事ができました。



4.3 IFSCC 2022 において口頭発表 1 件、ポスター発表 3 件が受理

IFSCC : The International Federation of Societies of Cosmetic Chemists

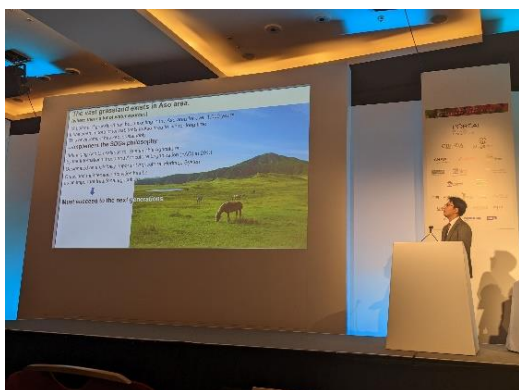
日本化粧品技術者会(SCCJ) の上部組織である国際化粧品技術者会連盟 (IFSCC) には、世界各 49 の Society が加盟し、総会員数は約 16,000 名となっております。

学術大会 (Congress)は、2 年ごとに開催地が決定されて行われます。

各国の化粧品技術者が一堂に会し、最新の研究成果を発表し活発な討論が行われ、優秀な発表に対しては各種の Award が授与されています。

2022 年イギリス・ロンドンで行われた第 32 回 IFSCC Congress では口頭発表 1 件、ポスター発表が 3 件受理されました。

PODIUM PRESENTATION



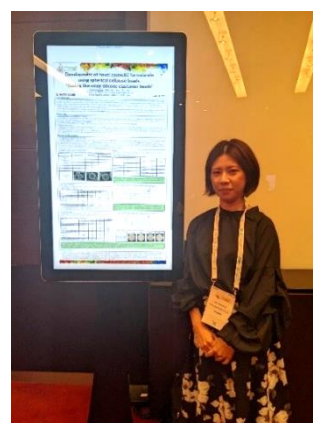
「サクラン」の原料であるスイゼンジノリの養殖を通じた SDGs へのアプローチ (森 輝明)

The approach for SDGs based on cultivation of Suizenji-nori, as a raw material of the ingredient, Sacran, for cosmetics (Teruaki Mori)

POSTER PRESENTATION

シリコンエラストマービーズ代替原料としての球状セルロースの可能性 (北之馬 麻希)

Development of novel cosmetic formulation using spherical cellulose beads, "feeling like using silicone elastomer beads" (Maki Kitanouma)





天然由来原料を用いた表面処理粉体の種類と特性（土屋 玲一郎）

Characteristics of natural derived surface treated pigments for the achievement of SDGs (Reiichiro Tsuchiya)



新規非修飾セルロースナノファイバーの特徴とゲル状化粧品への応用（太田 敦子）

Poster presentation Study of cosmetic applications with unmodified cellulose fiber as novel gel type ingredient (Atsuko Ota)

4.4 6th IPCE CONFERENCE

Characteristics of natural derived surface treated pigments for the achievement of SDGs （土屋玲一郎）

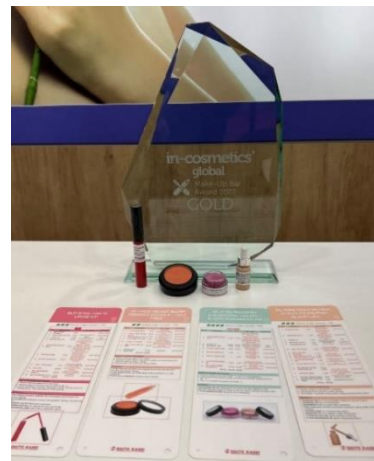


環境に配慮した製品開発に力を入れている中、SDGsに着目した天然表面処理に関する研究内容が評価され、2023年6月7～8日に、イタリア サルディーニヤで開かれた学会で、口頭発表を行うことができました。

4.5 Make-Up Bar Award の金賞受賞（2 回目）

2022 年 4 月 5～7 日に開催された in-cosmetics global 2022 フランスにおいて DAITO KASEI EUROPE は、Naturality & sustainability with high performance sensoriality と題し、4 つの処方を紹介し、Make-Up Award 金賞を受賞しました。

天然やサステナブルに焦点をおいても、優れた感触や仕上がりは損なわないというコンセプトを元に開発した処方です。



4.6 「CITE アワード」環境部門ノミネート及び SILVER AWARD 受賞

2023 年 5 月 17～19 日に開催された CITE JAPAN において弊社の製品である SACRAN がノミネートされ、審査の結果、SILVER AWARD を受賞しました。



「CITE アワード」の環境部門では、持続可能な資源の利用を重視した製品開発や技術革新をテーマにしている製品をノミネートの対象としており、今回は 6 製品が対象となりました。

SILVER AWARD 受賞！自然とお肌をバリアする“SACRAN” SACRAN は、阿蘇山麓の限られた清らかな湧水でしか生息できないスイゼンジノリから抽出された天然由来の成分です。肌にうるおいを与える保湿剤としても役割だけでなく、その特徴的な分子構造より、肌に塗布すると、肌の上に皮膜を作り、たばこの煙や自動車排気ガスなどから肌を保護する役割を果たします。敏感肌を守るような特性をスキンケアに付与することが可能です。

4.7 世界各国の展示会での活動

当社は世界各国で開催される展示会にブースを設置し天然由来、サステナビリティをコンセプトに持つ製品を紹介しております。

2022 年 4 月 5～7 日 in-cosmetics global 2022 フランス

当社ヨーロッパ支社である DKE が出展し、Naturality & sustainability with high performance sensoriality と題し、天然やサステナビリティに焦点を置いた優れた感触と仕上がりを実現する 4 つの処方を紹介しました。

展示会では、前述の通り Make-Up Bar Award を受賞しました。この賞はもっとも革新的な処方に贈られる賞です。

2022 年 10 月 25～27 日 ICI 2022 インドネシア

2022 年 11 月 7～9 日 in-cosmetics Asia タイ

両展示会では現地のケミコグループ各社と協力し“パーフェクト・ロングラスティング・メイクアップ”というコンセプトにて化粧品原料や参考処方を紹介しました。



2023 年 3 月 28～30 日 in-cosmetics global スペイン

弊社のヨーロッパ支社である DKE が出展し、天然原料を多く使用したエコフレンドリーをコンセプトにした参考処方と、それらに配合している化粧品原料を主に紹介しました。

2023 年 5 月 17～19 日 CITE JAPAN 2023

“自然・技術の融合～付加価値を有する製品”という展示テーマのもと、天然由来の原料と処方例を中心に、ご紹介させて頂きました。また、「CITE アワード」にノミネートされておりました "SACRAN"は、来場者投票の結果、SILVER AWARD を受賞することができました。



2023 年 6 月 7日～8日 ICI 2023 インドネシア

スラバヤで開催された ICI 2023 に出展いたしました。

“Natural × Natural”という展示コンセプトのもと、天然由来の原料とナチュラルな仕上がりになる処方例を中心にご紹介させて頂きました。ツヤ感があり、かつロングラスティング効果のある新しいリップクリーム処方は、多くの引き合いをいただくことができました。



5. 品質方針と環境方針

当社では毎年年初に当年の品質方針及び環境方針を改訂し、従業員全員に周知を行っています。

各部門及び各拠点は品質および環境に関する年度の活動について、方針及び毎年実施されるマネジメントレビュー及びそのアウトプットでもある内部外部の課題に基づき目標及びリスクと機会への取り組み項目を決定しています。

活動はISO9001、EffCI GMP、ISO14001 に準拠して行われていますが、認証を取得・維持するための活動とは考えていません。

経営課題の改善や環境の改善などと密接に関係するものと捉えており、事業の発展、働き甲斐のある職場の実現、利害関係者の信頼を高めることを目的とする経営の重要な指標と考えています。

この活動を通じ、従業員の教育訓練の機会を増やすことができおり、スキルアップや改善能力の向上にもつながっています。

DAITO KASEI

品質方針 (2023)

1. 何事に対しても、誠実・謙虚・挑戦を基本理念として、親切で丁寧、かつスピード感を持って、全社員個々の役割を確実に果たし、お客さまの役に立ちます。
2. お客さまの要求と期待を確実に理解し、常に創意工夫することにより、お客さまの満足と信頼を得ます。加えて、当社独自の技術を開発し、それを応用し市場展開を図ることにより、社会的要請事項を満たします。
3. 品質の維持・向上のために、2023 年度品質方針に基づき品質目標を設定し、計画的に推進し、さらに達成度を把握します。
4. ISO9001：2015、EffCI GMP のみならず、すべての社会的・市場的要求に対する標準化の規制、グローバルな法的規制を確実に遵守し、品質重視のマネジメントを推進します。
5. 品質目標は、品質マネジメントシステムを通して具体的に展開し、さらにそのシステムの有効性を高めるために、目標達成に向かって具体的な行動を計画し、展開し、評価します。
6. 品質の維持・向上のため、すべてのプロセスにおいてのリスクマネジメントを行い、リスク評価による未然の改善を継続的に進めます。
7. 品質の維持・向上のため、お客さまからのクレーム情報を分析し、様々な視点から的確な再発防止を行います。また、起こりうるリスクの抽出を行うことにより事前のリスク回避を行います。
8. お客さまをはじめ、最終の消費者に対しても安心と安全、ご満足をお約束できるように常に細心の注意を払い、品質の確保に努めます。

2022 年 12 月 12 日
大東化成工業株式会社
代表取締役社長

脇 祥哲

DAITO KASEI

環境方針 (2023)

1. 何事に対しても、誠実・謙虚・挑戦を基本理念として、親切で丁寧、かつスピード感を持って、全社員個々の役割を確実に果たし、お客さまの役に立ちます。
2. 地球環境の保全および汚染の予防は、これからの文明と人類の繁栄に不可欠である最重要課題であることをしっかりと認識し、
 - ・ 新しい技術によるモノづくりを通して、明るく豊かな未来を創造します
 - ・ 自然と共生するための知恵と工夫を常に心がけます
3. (法規制) 関連する環境法規制の目的・内容を理解し、それを遵守します。
4. (環境負荷) 原料・資材調達から、製造、品質保証、営業、物流、在庫における企業活動の各場面において、環境負荷を低減する努力をします。
5. (環境保全・汚染の予防) 廃棄物の削減と水を含む天然資源やエネルギーを有効活用により生物多様性の保全、汚染の予防と持続可能な人類社会の持続可能性 (CSR) に努めます。
6. (環境マネジメントシステム) 環境目標を設定し、全員参加の環境保全活動により、その達成を目指します。
同時に、その結果を向上させるため環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
7. (利害関係者・ステークホルダー) 社員を始め、仕入先、顧客、地域社会、行政機関など、当社の企業活動に関わる利害関係者が、当社に何を期待しているのかを明確にし、リスクと機会に対する取り組みを決め、実行し、継続的に改善します。
8. (環境方針の開示) 環境方針は、文書化し、組織内の全社員ならびに、密接に関連する関係会社にも伝達し、組織外からの要求に応じて開示します。

2023 年 4 月 3 日
大東化成工業株式会社
代表取締役社長

脇 祥哲

6. 笑顔あふれる職場を目指して



私たちにとって、従業員の人権を守ること、働きやすい環境を整えることは非常に大切なことです。私たちは従業員の働きやすさの向上のため、様々な取り組みを行っています。

6.1 差別のない待遇

企業活動の担い手である従業員の人権を守ることが、公正な企業運営を行うために欠くことのできないものです。年齢、性別、障害、人種等に関係なく、全ての従業員が公正で平等な待遇、地位、職場環境を得てこそ、能力を発揮することができます。私たちは性別、人種、障害の有無によらない給与体系を維持しています。

6.2 労働法令の遵守と職場環境の改善

従業員の人権を守る

全ての労働関連法令を遵守する為、社会保険労務士との定期的な情報交換を行っており、必要に応じ労働条件や社内規定に反映しています。

また弁護士の助言を得る体制もあります。

ハラスメント・社内苦情に関する相談窓口を設置しており、2020 年は全従業員に対しハラスメント研修を行いました。

また、新入社員に対しても入社時研修実施時にはハラスメント研修を実施しています。



個人にとっての職場環境は、周りの数人の人とのコミュニケーションで決まるという考えに基づき、2022 年には現場リーダーを対象とした研修も実施しました。

腐敗を防止する

仕入れ先様に対して、当社従業員のハラスメント行為や贈収賄に関する苦情窓口を設置しています。利益相反、贈収賄に関する社内規定の整備と周知を行っており、従業員から誓約書への同意を得ています。

未来を創造する若者を育てる

ユースエールは、若者の採用と育成に積極的で雇用管理の状況が優良な社員 300 人未満の中小企業を国が認定する制度で、当社は 2018 年に認定を受け、現在もその認定基準を維持しています。大阪府下で認証を受けている中小企業は、2022 年末時点で約 50 社となっています。

女性が働きやすい職場

2022 年の女性の育児休業の取得者は 3 人です。(取得率 100%) また、2022 年には 1 人が職場に復帰しました。

男性の育児休業

2022 年の男性の育児休業取得者は 3 人です。(取得率 50%)

従業員の健康への配慮

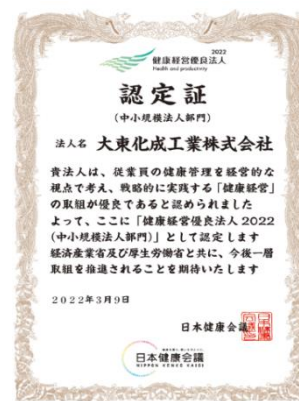
定期健康診断受診時は、法定の検査項目以外の検査（乳がん、大腸がん、子宮頸がん、胃カメラ等）も受診可能としています。

また、産業医巡視の際は、全従業員の健康相談を可能としています。

インフルエンザの予防接種については、従業員については全額を会社が負担し、同居家族についても一定額の補助を行っています。

健康優良法人認定

2022 年 3 月には社員の健康管理に戦略的に取り組んでいる企業として、2021 年に引き続き健康優良法人に認定されました。



障害者雇用

2022 年の障害者雇用数は 6 名であり法定雇用率を満たしています。

6.3 従業員の安全と衛生を守る

安全で健康的な環境は、すべての従業員にとって基本的な権利であり、安定した効率的な運用を確保するために不可欠です。

勤務時間

大東化成グループは、労働時間に関する現地の規制を遵守しており、製造部門は 7.5 時間の 2 回または 3 回のシフトで稼働しています。また、在宅勤務や時差出勤などの柔軟な働き方を導入し、コロナ 5 類移行後も継続しています。在宅勤務や時差出勤により、通勤時の混雑回避など負担の軽減や時間の有効活用などが可能となり、労働環境の改善につながると考えています。

化学物質管理

化学物質は工場では取り扱われますが、技術的な安全対策、適切な保護具の着用等により作業環境の安全を確保しています。また製造現場で使用する原材料の SDS は使用する場所ごとに備えており、従業員はいつでも閲覧することができます。

リスクマネジメント

新製品の製造や新設備の導入に関しては、リスクマネジメントを行い、従業員または環境に危険を

及ぶ可能性があるかどうかを判断しています。

職場の化学物質、それらの保管場所、在庫量についてはリストを作成し、適切に管理しています。
また化学物質または状況への暴露を可能な限り低レベルに制御しています。

産業医による健康相談

日本では 50 人以上の事業所に対し、産業医の任命が義務づけられていますが、50 人未満の事業所である福井工場及び東大阪工場においても、産業医による巡視を実施し、職場の安全衛生に取り組んでいます。また巡視実施日には、従業員個人の健康相談も可能としており、産業医と面談することができます。

7. 学びを通して成長する従業員づくり



従業員が仕事を通じ成長していく環境を作ることは、従業員が能力を高め、満足度を得ることにつながります。また企業の成長のためには、従業員の成長が不可欠であることは疑問の余地のないことです。当社では、主に以下のような施策を実施しています。

入社時研修

新卒・中途入社者に対し、会社規定・ハラスメント・安全衛生・ビジネスマナー等の研修を行っており、入社後 4 週間の配属部門におけるフォローアップも実施しています。

ISO9001 & EFfCI GMP 研修

ISO9001 及び EFfCI GMP に関する研修（規程や手順書の理解）や改善に関する研修については、主に OJT によって行われています。研修は各部門の年間計画に沿って、実施されています。研修を継続実施することで従業員の理解が一層深まり、より信頼性の高い品質管理システムへの維持改善が可能となっています。

ISO14001 研修

2022 年 5 月には、外部講師による 1 日の内部監査員研修を実施し、研修には従業員 20 名が参加しました。また、研修（規程や手順書の理解）や改善に関する研修については主に OJT によって行われています。

ハラスメント研修

「風通しがよく、誰もが自由に意見交換する事ができ、気持ちよく仕事をできる」—そんな理想的な職場を実現することは、企業にとって欠かすことのできない使命と考えています。日本ではハラスメント防止法が 2020 年に施行され、大企業を対象に適用されました。

中小企業への適用は 2022 年からですが、当社ではそれに先立って体制を整え、自主的に適用すると共に、全従業員に対する研修を実施しました。

語学教育

業務上必要とされる従業員に対し、英会話及びフランス語会話研修（週 1 回）を行っています。

社外研修

所属団体が実施する化粧品技術基礎講習会などへの参加や、各部門において必要とされるスキルに関する外部研修には、部門長の判断により適宜参加しています。

資格取得者への報償

危険物資格、衛生管理資格、情報処理資格取得者に対する報償の実施を行い、従業員のモチベーションを高めています。

人事評価面談制度

一般従業員を対象とし、上司又はリーダーとの面談を 6 か月毎に実施し、コミュニケーションを図りながら従業員の育成を実施しています。

昇給昇格者研修



全社的な人事制度の構築に取り組んでおり、その一環としての昇級昇格者を対象とした研修を実施しました。

研修では、会社の現状の理解、基礎的な会社の数字に対する理解や演習、管理者としての役割に関するグループワークを行いました。また、研修を通して対象者間の交流を図ることができました。

その他セミナー・展示会など、従業員のスキルアップに必要な教育・情報収集の場への参加を奨励しています。

8. 持続可能な社会を実現するための製品開発と市場展開



8.1 プラスチック汚染の解消を目指して

CELLULOBEADS（セルロビーズ）

20 世紀初頭から石油化学の発展と共に、数多くの合成高分子（プラスチック）が生み出され人々の生活を支えて来ました。その生産量は世界全体で現在 3 億トンを超えています。しかしながら、このプラスチックによるゴミは、世界中の海に広がり、環境汚染や生態系への悪影響を引き起こしています。特に国連環境計画（UNED）がマイクロプラスチックとして定義した直径 5 ミリ以下の

ものは、世界中で5兆個以上あると言われています。

魚や鳥が間違えて飲み込む事例が多数報告されており、生態系への影響が確認されています。

また、マイクロプラスチックは殺虫剤や難燃剤などの有害物質を高濃度に吸着する性質があり、食物連鎖により人にも影響を与えます。その対策として、各国において使用制限や、代替えとなる海洋分解性を有するものの開発が行われています。

ここで紹介する“CELLULOBEADS”は、海洋分解性のあるセルロースを用いた球状粒子であり、元原料に FSC 認証^{*1}を受けた木材を使用している自然由来の製品となります。

“CELLULOBEADS”については、既に海洋分解性を持つマイクロプラスチックの代替品として市場展開を行っていますが、今後はさらなる設備投資を行い、生産量を増強していく予定です。

また、2021年7月には医薬食品技術のデータベースサイトである

「イブロス医薬食品技術」にページを開設し、植物由来の生分解性球状粒子“CELLULOBEADS”を紹介しています。



^{*1}FSC 認証：環境、社会、経済の便益に適い、管理された森林からの製品を消費者に届け、経済的利益を生産者に還元する仕組みです。認定された独立した第三者認証機関による審査の後、規格を満たしたと判断された場合に発行されます。

8.2 水の豊かさを守る サクラン

サクランは、阿蘇山麓に限られた清らかな湧水でしか生育できない「スイゼンジノリ」にのみ存在する天然多糖類です。驚くほどの保水力をもつその成分は、肌にうるおいを与えるだけでなく、肌を保護する被膜を作る特殊なものです。



しかしながら、「スイゼンジノリ」は絶滅危惧種にしてされており、その生育の為に清らかな水が欠かせない植物です。

私たちは、「スイゼンジノリ」の生育ができる環境を増やす努力も地元の方々と一緒に行っています。



8.3 持続可能な資源の調達を目指して

RSPO 認証

アフリカ産のアブラヤシから得られるパーム油は、加工食品、医薬品、化粧品、洗剤などの消費財からバイオ燃料などへ幅広く利用されており、世界では約 7,000 万トンが生産されています。

これは 20 年前の約 2 倍の生産量です。このためアブラヤシ農園は急速に拡大しましたが、不適切な農園管理などで環境に深刻な影響を与えています。森林破壊、保護価値の高い自然林や泥炭湿地の消失、生物多様性の損失、児童労働などの問題が発生しています。

当社の使用する原料にもパーム油を元原料とするものがあります。私たちは環境維持活動及び人権擁護を支持しており、2019 年 3 月には RSPO 認証^{*2} (Mass Balance) を取得しました。適正な原料を使用した製品を化粧品メーカー様へ供給してまいります。

2022 年 4 月にはサプライチェーン認証を継続しました。

^{*2}RSPO 認証：持続可能なパーム油のための「原則と基準」に元づいた認証制度で、当社はサプライチェーン認証を取得しています。

備長炭粉末

山の木々は人が手を入れないとなかなか育ちません。木が成長していく過程で人が手を入れることにより、山を生かし、緑を生かすことができます。紀南地方に群生するウバメガシをはじめとする広葉樹林は地域の治山、治水、自然保護に大きく貢献しています。

樹木をそのまま燃やして燃料にするのではなく、一度蒸し焼きにして木炭を作ることによって煙や炎を出さず火力が持続し、しかも保存のきく燃料は世界各地で開発されました。この技術は当時の人類にとって一大燃料革命でした。日本への炭焼き技術は、空海が 9 世紀始めに中国（唐）から最新の技術を持ち帰り、日本各地に広がったといわれています。



その後、紀州では長年にわたって、広葉樹林の保護育成を行いながら、炭焼き技術の開発が重ねられ、世界で類のない硬質炭である「備長炭」の製造技術を完成し、現在に至っています。

備長炭の硬度は驚くほどで、アルミニウムやステンレスよりも硬く、ダイヤモンドに迫る硬さを持っていることが知られています。

備長炭粉末は紀州備長炭を原料とし、カーボンプラックなどの石油製品ではなく自然由来の粉末であり、私たちは備長炭粉末を原料とする製品を開発し、市場に展開しています。

天然由来製品

既述のように私たちは天然由来原料の使用及び製品の開発を継続して行っており、持続可能な社会の実現のために企業が果たすべき役割であると考え継続して取り組んでいます。詳細は、当社ホームページの製品情報（<https://www.daitokasei.com/product/chemical.php>）をご覧ください。また顧客の要望がある場合は COSMOS 認証も取得しており、50 以上の製品が認証を受けています。

9. 顧客満足



9.1 品質管理システム

顧客満足の維持向上のための品質管理システム

適正な品質管理は、業務の透明性や円滑な運営を可能にし、廃棄物の発生量減少、エネルギー消費量減少、労働時間の削減等の資源の有効な利用や労働環境に影響を与えます。品質管理は、CSR 活動を行っていく上での基本となるものと認識しています。また、お客様をはじめとしたすべてのステークホルダーの利益につながると考えています。

大手顧客による品質管理体制監査

当社は大手顧客による品質管理体制の監査を受けましたが、マイナーな指摘事項を除き、概ね満足との評価を受けました。指摘事項については、速やかに改善し、実施報告を行っています。

世界のニーズに応えるための品質管理システムと従業員の意識向上

大東化成工業株式会社では、従来より ISO9001 を取得していた事業所に加え全事業所を対象として、2019 年 2 月に ISO9001:2015 認証を取得しました。

2020 年からは EFfCI（欧州化粧品原料製造に係る GMP）の取得に向け、活動を開始し、2021 年においては、GMP の 3 原則である「人為的な誤りを最小限にすること」「汚染及び品質低下を防止すること」「高い品質を保証するシステムを設計すること」を実現し「誰が作業しても、必ず同じ品質・高い品質の製品をつくる」体制を構築する活動を継続的に実施しました。

その結果、2022 年には認証取得のための審査を受ける事ができ、岡山工場、福井工場、新潟工場の 3 サイトにおいて審査を終了し、2022 年 7 月に認証を取得しました。

今後はこの国際規格に基づいて、システムの継続的な改善を進め、信頼性と顧客満足度を高めていきます。

9.2 CSR 活動に対する評価

私たちの CSR 活動に対するお客様の評価は、今後の事業の発展やお客様との継続的な信頼関係を可能にするために不可欠であると考えています。

CSR 活動に対する第三者機関の評価の尊重

私たちは、国際的な CSR 活動の評価のためのプラットフォームである EcoVadis 及び Sedex の会員となっており、CDP へも参画しております。お客様は、この評価結果にアクセスいただくことにより、評価結果を共有することが可能となります。また大手のお客様による事業所単位での CSR 実地監査を受けており、個々のお客様からの CSR アンケート調査にも協力しています。

私たちはその評価結果を尊重し、より良い CSR 体制のための改善活動に反映しています。

EcoVadis、CDP、Sedex による評価結果のまとめと対応

各プラットフォームの評価項目と当社の最新の評価結果は、以下のとおりです。

EcoVadis

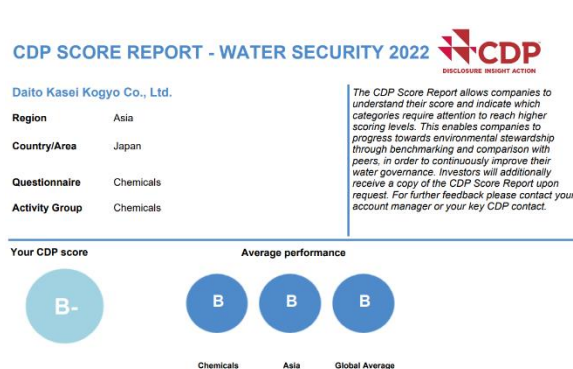
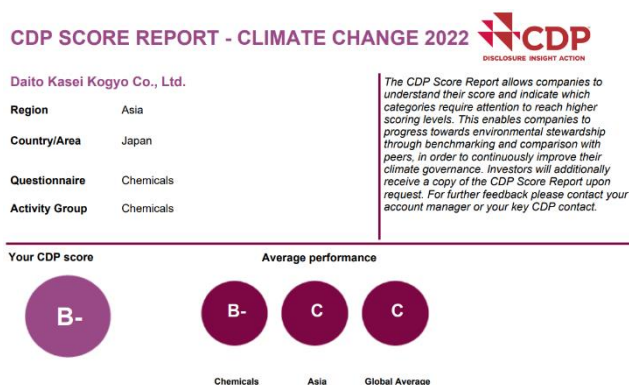
包括的な企業の社会的責任評価サービスで、環境、労働慣行と人権、倫理、持続可能な資材調達の 4 分野について評価を行うプラットフォームです。当社は 2022 年の評価で対象会社中、上位 13% のシルバーの評価を受けました。



CDP

企業に対し気候変動への戦略や温室効果ガスの排出量の公表に対する評価を行うプラットフォームです。

当社は 2022 年気候変動及び水セキュリティで共に B- の評価を受けました。



Sedex

サプライチェーンにおける労働実務に関するリスクを管理するための評価を行うプラットフォームです。当社は 2021 年の回答に対し大手お客様より高評価を得ました。

プラットフォームの評価を尊重した対応

私たちは評価結果を尊重し、更なる改善を行うため、ISO14001 認証取得など全社的な取り組みを実施し 2023 年に認証を取得しました。

10. 環境保全への取り組みーより良い未来のために



持続可能な社会への貢献は私たちの果たすべき使命であり、特に環境に関する取り組みはその根幹となるものと考えています。環境関連法令遵守や全社的な環境マネジメントシステムの構築、温室効果ガス削減などの環境保全への取り組みや、持続可能な社会を実現するための製品開発と市場展開を行っています。

10.1 環境関連法令の遵守

大東化成グループのすべての製造施設を設置している自治体と、各自治体の定める法令（条例）に基づいた環境・公害についての協定を結び、工場を稼働させております。各自治体からは定期的に監査を受け、これらの協定が遵守されていることを確認しています。

それに加え日本では 2019 年に消防法、大気汚染防止法、PRTR 法、廃棄物処理法、省エネ法などの環境関連法令に対する全社的な遵守状況の調査を行いました。その結果、大きな問題は発見されませんでしたが、記録の保管など改善すべき点が発見され、直ちに是正を行いました。

今後も ISO14001 の活動の一環として定期的に遵守状況の調査を行い、さらなる改善への取り組みを継続します。

10.2 温室効果ガス削減のための個別の取り組み及び 2030 年排出量目標

フランスの販売現地法人 DAITO KASEI EUROPE では、使用するすべての電力は再生可能エネルギーを使用しています。また製造拠点 DAITO KASEI INDUSTRIES FRANCE では、天然ガス使用に関してのカーボンオフセットを行っています。

大東化成工業株式会社では、全事業所において照明の LED 化を順次進めており、2021 年までに完了しました。

また、CO2 削減目標については、国の指針や顧客の期待に応えるべく、2022 年フランスで実施した会議においてグループの目標を決定しました。スコープ 1 と 2 の合計目標を 2030 年までに 2,250 トン以下としました。2022 年の CO2 排出実績は 3,862 トンでした。私たちの目標は、2022 年比で 44% 削減です。

11. パートナースhip



11.1 ステークホルダーの期待に応える

私たちの社会における存在意義は、大切なステークホルダーの期待に応え、豊かな社会に継続的に貢献していく経営を行っていくことにあります。私たちのステークホルダーは、お客様、サプライヤー、金融機関、従業員、株主、自治体、地域社会、各種所属団体など企業活動に直接的な影響がある方々です。

ステークホルダーは、現代の環境や文化を壊すことなく将来世代に引き継ぎ、地球、自然、社会、事業などの「持続性」を達成する経営を期待しています。

私たちはその期待に応えるため、法令を遵守し、国連のグローバルコンパクトの 10 原則、CSR のガイドライン規格である ISO26000 及び SDGs の 17 の目標を尊重し、企業活動の中で様々なアクションを行っています。その継続的な積み重ねによって「持続可能性」に加え、様々なステークホ

ルダーに配慮した経営を行い、SDGs が目指す「より幸せな社会」の実現に貢献できると考えています。

11.2 私たちが所属している団体

私たちは、下記の団体に所属しています。

団体の活動に参加することにより各種法令、規制、業界動向、他企業の情報など有意義な情報を共有することができ、企業活動のさまざまな情報を得ることができます。また、所属団体によっては、近年各企業の SDGs についての取り組みに対する支援を推進しております。

- * 大阪商工会議所
- * 社団法人大阪府工業協会
- * 日本化粧品技術者会
- * 西日本化粧品工業会
- * 日本顔料技術委員会

当協会の関西支部である顔料技術委員会の会長に 2021 年 4 月当社の従業員が会長に就任しました。

- * EFFCI – 欧州化粧品原料連合(DAITO KASEI EUROPE)
- * コスメティックバレー(DAITO KASEI INDUSTRIES)
- * 天満労働基準協会
- * 一般財団法人 全国危険物安全協会
- * 一般財団法人 全日本交通安全協会
- * テクノポート企業連絡会

テクノポート福井企業連絡会は福井市と坂井市にまたがる西日本最大の工業団地です。

進出企業は 80 社に及び当社も福井工場を設置しています。連絡会では工業団地の様々な課題に対し

進出企業が協力して取り組んでいます。当社従業員は、連絡会会長を 2021 年 4 月～2023 年 4 月まで務めました。

11.3 地域との連携や雇用の創出

当社では、地域社会や他社と協力して環境保全や雇用の創出に貢献しています。

スイゼンジノリの養殖

私たちが市場展開しているサクランの原料—スイゼンジノリは福岡県、熊本県で養殖が行われていますが、その生育には九州の阿蘇山の伏流水、つまり天然のミネラルを多く含んだ清麗 18～20 度の水流が不可欠であることがわかっています。



私たちはスイゼンジノリを使用し、サクランを生産するために、地元の方々と協力しスイゼンジノリの生育する環境を増やし、養殖事業の拡大に注力しています。

このことは、環境保全にもつながり地域の雇用の創出にもつながります。

環境汚染を解消する製品の生産力を増加する他社との協力体制

CELLULOBEADS（セルロビーズ）委託生産

海洋分解性を有する“CELLULOBEADS”はマイクロプラスチックの代替品として、欧州を中心に需要が高まって来ています。この環境問題を背景とした需要の増加に対応するため、レンゴー株式会社に委託生産をお願いすることになりました。2022 年秋にはレンゴー株式会社様において専用の工場が竣工し将来的な供給体制も万全となりました。今後はレンゴー株式会社様の協力をお借りしながら、環境保全に貢献すべく“CELLULOBEADS”の普及に努めていきます。

地方自治体、森林組合、近隣住民との連携で行う環境保全

「笑顔の森」森林保全活動

2017 年私たちは和歌山県の森林保全活動である「企業の森」活動に参画しました。

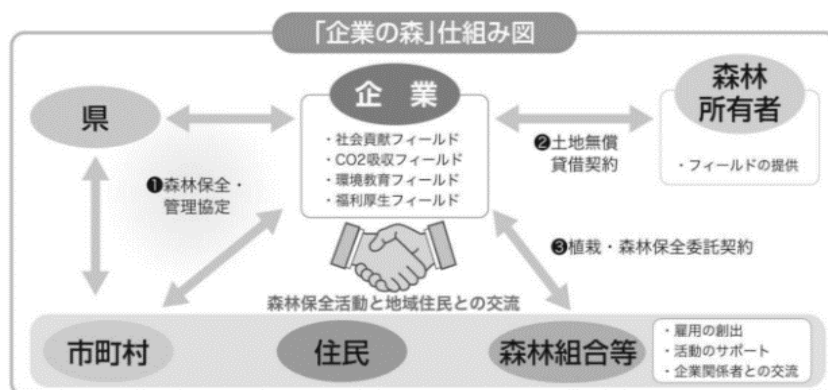
この活動は、「伝統的な知識保存の促進」「伝統的な知識保存の促進」「地域価値の創造」「森林の保全を通じて環境を守る」を目的としており、森林の保有者、和歌山県や市町村、森林組合と企業が一体となって、それぞれの役割を分担し豊かな自然を維持育成していく活動です。活動に共感し参画した企業・団体は現在 80 以上となり広大な森林の維持育成が行われています。



私たちは、田辺市に 2.53ha の森林を「笑顔の森」として活動を開始しました。2018 年 5 月には、日本の社員だけでなく、フランスや中国の拠点の従業員も参加し、県や市や森林組合や関係会社や住民の方々にも参加していただき植樹活動を行いました。皆さんとの交流は特に印象深く、美しい自然を満喫するとともに皆さんに対する感謝の気持ちで一杯になりました。

2021 年についてはコロナの影響もあり、下草刈りの活動はできませんでした。しかしながら会社としては、今後も福利厚生の一環として、従業員とその家族の参加のもと下草刈り等の活動を行い、地域との連携を深めていく予定です。

また、この「笑顔の森」には 3,000 本のウバメガシをはじめとした合計 6,000 本の広葉樹が植林されており、その生育によって、将来的には年間 10,700kg の二酸化炭素を吸収する森となります。



出典：和歌山県 HP 企業の森

12. 当社のオリジナルな取り組み



法令を遵守するだけでなく、従業員の健康、労働条件、コミュニケーション、コンプライアンス、ガバナンスなどについて従業員の幸せにつながる制度や、ステークホルダーの信頼につながるいくつかのオリジナルな制度を導入しています。ここではすでに紹介したものも含め、現在導入している制度についてまとめました。

従業員の幸せや会社への信頼性の向上は当社の CSR 活動の大きな目標であり、Well-being 経営として今後も継続的に実施していきます。

12.1 従業員の健康管理

インフルエンザ予防接種負担

従業員本人には 100%、同居家族全員に対し 2,000 円の補助を行っています。

健康診断追加項目・再検査補助

法令で定められている検査項目に加え、乳がん、前立線がん、大腸がん、子宮頸がん、胃カメラ検診を追加しており、再検査も会社が費用を負担しています。

産業医巡視及び健康診断

当社では、50 人未満の事業所である福井工場、東大阪工場においても定期的に本社の産業医が巡視を行っています。また巡視の当日については、従業員から産業医への健康相談を行うことができます。

健康優良法人

従業員の健康管理は、従業員個人の問題ということではなく、従業員に対する企業の責任という経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業として 2021 年に認定され現在も継続しています。

12.2 労働条件

時差出勤と在宅勤務の継続

当社ではコロナに対する対応として、時差出勤及び在宅勤務を実施してきましたが、2023 年 5 月以降も柔軟な働き方として両方を継続しています。

入社者に対する年次有給休暇の入社時付与

これまでは法律に則り、入社後 6 か月の時点で、年次有給休暇 10 日の付与を行って来ましたが、その間に病欠などで休みが発生した場合は賃金の控除を行って来ましたが、そのため無理に出勤するケースもあり、対象者の健康に悪影響を及ぼすだけでなく業務の効率の低下につながっていました。そのため弊社では 2023 年 4 月より入社者に対し、入社日に 5 日の年次有給休暇を前もって付与することにしました。

休日出勤手当

法令では週に1日の法定休日に勤務した場合、休日出勤手当（35%割増）を支給するとなっていますが、当社では会社休日すべてを休日出勤手当の対象としています。

深夜割増賃金

法令では深夜労働（PM10時～AM5時）に対し25%の割増賃金を定めていますが、当社では交替勤務者に対し40%割増賃金を適用しています。

外出、早退月各一回

1か月当たり各2時間を限度に、役所、病院、育児などの関係で短時間の外出、早退することを可能としています。またこの時間に対しては給与の控除も行っておりません。

残業時間

法令では8時間以上の勤務を対象としています。当社では7.5時間以上を対象としています。

ユースエール認定



若者の採用と育成に積極的で雇用管理の状況（離職率、勤務時間、年休取得、健康管理等）が優良な中小企業を国が認定する制度で、当社は2017年に認定され現在も継続しています。

12.3 休業補償

入院補助・死亡保障の上乗せ

私傷病による入院の際には、入院80日間までの入院補助を行っている他、会社負担による死亡保障制度があります（200万円で業務上の事故も含む）。

12.4 働きやすい職場

ハラスメント研修

2020年6月より、ハラスメント防止法が施行されました。

中小企業については、2022年からの適用となる法律ですが、当社は法律の趣旨に同意し、会社の人事制度の目的である「働きやすい職場・風通しの良い職場」を実現する為の活動の一環とし、適用を待たず2020年に全従業員を対象としたハラスメント研修を実施しました。

また、個人にとっての職場環境は周りの数人の人とのコミュニケーションで決まるという考えに基づき2022年には現場リーダーを対象とした研修も実施しました。

また新入社員教育の必須項目として研修を継続的に実施しています。

社内相談窓口

従業員が様々な悩み事を相談できる社内相談窓口を設置しています。

12.5 社内行事・表彰制度

年始会・永年勤続表彰

2022年はコロナの影響により実施できませんでしたが、毎年初出勤日には全従業員が一堂に会する年始会を開催しています。年始会では、年頭の挨拶や永年勤続者の表彰（盾、記念品、寸志等贈呈）を行っており、従業員同士の交流を深める場となっています。

社員旅行

コロナ以前は5年に一回の社員旅行を行い、従業員の交流をはかっていました。今後もコロナの状況をみながら実施を継続します。行先は国内海外から3, 4か所を選んでおり、配偶者の同行も可能です。

12.6 ガバナンス・コンプライアンス

公認会計士監査

当社では会計の第三者監査として、公認会計士による会計監査を毎年行っています。これは法的に定められたものではなく、当社の自主性によって行っている監査です。監査では、ガバナンスを保つため会計上の処理が適正であることが厳しく監査されます。

また経費関係の監査では、不当な取引が無いかどうかのチェックも受けています。

優良申告法人

優良申告法人とは、税務署が納税申告制度の趣旨に即した適正な申告と納税を継続し他の納税者の模範としてふさわしいと認められる法人に対し表敬を行う制度です。帳簿の適切な保管・管理・組織整備、公私混同がなく代表者に不明確な金融取引が無い、税の啓発活動への取り組みなどが評価の対象となります。

贈収賄防止・全従業員からの署名

当社では、2017年から贈収賄・利益相反の防止について、全従業員に対し説明を行い、その内容を理解し同意していただいた上で、誓約書に署名していただいています。

新入社員入社時の研修の中でも、誓約書の説明を行い署名していただいています。

これは贈収賄・利益相反は行わないという当社の強い意志によるものです。

苦情相談窓口の設置

贈収賄やハラスメントの問題は、社内だけでなく社外でも発生する可能性のあるものです。誠実な取引先との関係は互いの信頼関係を維持するためには欠かすことのできないもので、企業のコンプライアンスの重要な要素でもあります。当社では特に主要な仕入れ先に対し、当社の社員による不適当な対応があった場合の苦情相談窓口を設置し、設置の目的を通知しています。

社会保険労務士事務所との連携

労働関係法令や様々な法令、あるいは社内での人事労務案件について、毎月社会保険労務士事務所

との情報交換を行っています。社内規定の改訂や待遇改善など、より良い職場・労働環境の実現につなげています。

地域雇用の創出

サクランの事業はスイゼンジノリの養殖に関わる人の雇用を創出しています。また、備長炭粉末事業や「笑顔の森」森林保全活動は現地の森の保全や炭焼きに関わる人の雇用を創出しています。